

3月定例会・4月臨時会

○3月定例会

平成21年度一般会計当初予算319億4千万円（前年度比2億5千万円、0.8%の減）を可決しました。新幹線を活かしたまちづくりや緊急経済対策などに重点的に予算を配分しています。

○4月臨時会

国の緊急経済対策に伴う緊急雇用創出事業費など、3,962万8千円の平成21年度一般会計補正予算を可決しました。緊急雇用創出事業では、延べ42人の雇用創出が計画されています。

○新年度予算の重点項目

- ・新幹線を活かしたまちづくり
- ・市民の健康づくり
- ・交流人口の拡大
- ・中心市街地の活性化
- ・産業の振興と雇用の拡大
- ・循環型社会の実現
- ・緊急経済対策

○補正予算の主な事業（緊急雇用創出事業）

- ・心の相談員配置事業（1,485万1千円）
- ・健康診査受診率向上対策事業（484万4千円）
- ・河川クリーンアップ事業（349万4千円）
- ・バリアフリー状況調査事業（203万2千円）
- ・新幹線関連事業（1,211万1千円）
- ・国際交流事業（25万円）

予算

市史編纂事業に疑義！

この事業は、本年度から6年をかけて大村市史を発刊するもので、市史編纂委員会の開催や資料の収集・分析、原稿の執筆等を行うものです。（当初予算527万2千円）

審査の過程で、6年間の事業費が1億2千万円に上ることが明らかとなり、その積算根拠や組織体制のあり方について多くの疑問の声が上がりました。

議会としては市史編纂の重要性は認めるが、今回の予算を認めたことによって、6年間にわたる事業全体を認めるということではないとして、まずは組織体制を整えること、準備段階の域を超えないようにすること、進捗状況を報告することなどを要望しました。

心の相談員配置事業は慎重に！

この事業は、悩みを持つ児童生徒や保護者の心のケ

アなど、不登校対策として、「心の教室相談員」を小中学校に配置するものです。（補正予算1,485万1千円）

議会としては、教育現場というデリケートな問題に係る事業ということで、相談員の雇用に際しては、適切な人選がされるよう要望しました。

※その他の事業についても各常任委員会で慎重に審査しています。詳しくは4、5ページの委員会審査レポートをご覧ください。



条例

清掃センターに搬入する家庭ごみについても処理手数料がかかります

○大村市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

平成21年7月1日から、清掃センターへ家庭系ごみを直接持ち込む場合に、処理手数料が掛かるようになります。

料金は、50キログラム以下の場合200円。それを超える場合は、50キログラム増えるごとに100円が加算されます。

建設環境常任委員会において、詳しく審査を行い、経費や他市の状況も鑑み、可決しました。（5ページ参照）

【問い合わせ】
清掃センター
(54)3100

決議

振り込め詐欺撲滅に関する決議

振り込め詐欺撲滅に対する姿勢を明確に示すとともに、すべての市民がその被害に遭わないための防止策を積極的に推進することを決議しました。

陳情

3件の陳情があり、各常任委員会に報告がありました。

・市発注工事の最低制限価格引き上げに関する陳情の件

・最低保障年金制度の創設を求める陳情の件

意見書

JR不採用問題の早期解決を求める意見書

JR不採用問題の早期解決に向けて協議が促進されるよう、国に対し意見書を提出しました。